

広報 そら



わたしたちが考え、わたしたちが行動するまち

倉敷中央病院と 倉敷平成病院との 医療連携

CONTENTS

- 地域医療連携協定..... 2
- そうじゃ・宮城っ子基金デー..... 5
- 総社市職員募集..... 9
- お知らせ..... 10
- 雪舟フェスタ..... 24
- フォトニュース..... 26

2015
平成27年
No. 125

8



平成27年8月号 No. 125
平成27年8月1日発行

発行/総社市役所 編集/市政情報課広報広聴係
電話 0866(92)8214
Eメール shisei@city.soja.okayama.jp

F719-1192 岡山県総社市中央一丁目1番1号
広報紙の配布 電話0866(92)8218(総務課) FAX0866(93)9479
総社市役所のおへん http://www.city.soja.okayama.jp/ 総社市瑞野サウナ



地域で輝く 私たちの仕事

vol.05 やさい畑 クムレ



農作業の様子。作物の成長を感じながら、懸命に作業に取り組む

作業内容 農作業、野菜の加工
取扱商品 サツマイモ、ピーマン、ナス、オクラ、サトイモなどの野菜
利用者 14人
住所 岡谷175
問い合わせ ☎95-2266



やさい畑クムレで働く皆さん

さまざまなことに感謝を忘れず 一生懸命野菜を作っています

平成25年11月に開所した「やさい畑クムレ」。農業に必要な知識や能力、働くことの喜びや充実感を学びながら、ひたむきに野菜を作っています。

利用者全員で週に1回、同事業所で採れた野菜を使って料理し、同じテーブルを囲みます。一生懸命作った野菜を仲間といっしょに料理し食べることで、利用者同士のつながりがさらに深まっています。

野菜作りをとおして、土と触れ合いながら、作物の成長を体で感じ、採れた作物を仲間といっしょに味わえること、採れた作物で収入を得られること、さまざまな人と出会えることに感謝しながら、自立に向け一歩ずつ前進しています。

管理者の声

小林 章伸 さん

利用者には、さまざまなことに挑戦して、できることを一つでも増やしてもらいたい。ここでの作業をとおして、厳しい環境でも作業できる体力と自分の気持ちを伝える力を養ってほしいです。



利用者の声

中村 圭一 さん

さまざまな野菜を収穫したり、自分で作った野菜をみんなで食べたりできて楽しいです。利用者みんなとは仲良く作業できています。収穫の際には、適切な大きさで収穫するように心掛けています。



編集後記

■穏やかな気候の総社でも、災害に備えることについて経験則から学び考えなければいけないと感じています。(O・Y)
■夏本番です。暑い。暑さに負けないゴーヤのようにになりたい。(W・S)

■「そうじゃ・宮城っ子基金デー」の取材に宮城県まで行ってきました。宮城県内の子どもたちの笑顔がとてもうれしかったです。(N・K)
■今年も、ゆるキャラグランプリの時期がやってきた。できる限りの応援をしたいと思っています。(O・H)

今月の表紙



市では、6月26日、吉備医師会、倉敷中央病院、倉敷平成病院と「地域医療連携に関する協定」を締結しました。総社市民が住み慣れた地域で安心して生活できるために、市域を越えた切れ目のない医療の提供を目指し、取り組んでいきます。

吉備医師会と倉敷市の大病院をつなぎ
切れ目のない医療を提供